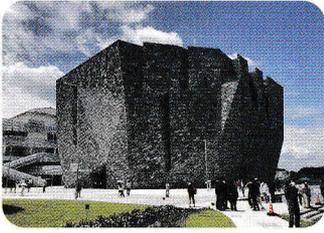


「ところざわサクラタウン」オープン情報



角川武蔵野ミュージアム

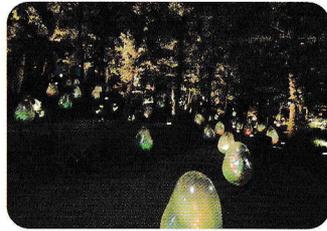
東所沢和田の「ところざわサクラタウン」、本格稼働に先駆け、図書館、美術館、博物館を融合した複合施設「角川武蔵野ミュージアム」が、

8月1日（土）にプレオープンしました。

まるで大地から隆起した岩石のような建物の外観は、世界的に有名な建築家である隈研吾さんがデザインしたもので、圧倒的な存在感があります。

また同じ日、隣接する東所沢公園の一部区域で「武蔵野樹林パーク」もオープンしました。ここには、幻想的な「チームラボ どんぐりの森の呼応する生命」が常設展示されています。

いよいよ11月6日（金）にはグランドオープン予定、松井地区に新たな賑わいをもたらすことが期待されます。



武蔵野樹林パーク

「ウィズコロナ」の取り組み

先の見えない新型コロナウイルス感染症との戦い、コロナ禍の中で新しい生活の仕方を余儀なくされています。

そんな中、「うつらない」「うつさない」の工夫がいろいろと考えられています。

今後、広報紙「まついむら」では、地域の皆さんの考えた知恵や「なるほど」と思われる「ウィズコロナ」の取り組みを紹介していきたいと考えています。

今回は、晴天の日でも「こうもり傘」をさし、密集や密接を防ぎながら登校する下安松地区の学童の様子を紹介します。



こうもり傘をさして登校

傘をさすことで丁度いい距離を保ち登校しています。

「ウィズコロナ」の取り組みを紹介してください。
※詳細は松井まちづくりセンターまで

松戸橋に新しい公園が完成しました

柳瀬川に架かる松戸橋（上安松）のもとに、地域念願の『松戸橋公園』が完成しました。

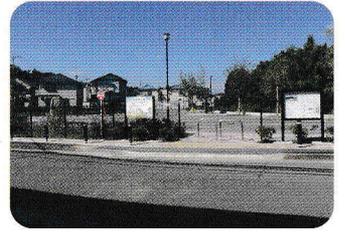
8月30日（日）には「利用開始式典」が催され、好天のもと、関係者や地元住民およそ140人が公園広場に集まりました。

式典では、公園設置に尽力した安松町内会役員各位による経過報告、安田敏男会長から用地提供者の方への感謝状贈呈、藤本正人市長はじめ来賓各位による祝辞のほか、安松町内会から所沢市への「ふるさと応援寄付金」の贈呈も併せて行われました。

式典の最後を記念写真撮影で締めくくると、参加者全員が大きな拍手で足かけ8年に及ぶ熱意の結実を祝いました。

この公園は、「柳瀬川に面した立地の特性を活かし、地域の人がふれあえる、親しみのもてる、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が交流できる公園」をコンセプトにつくられ、多目的広場のほか、遊具や災害時にかまどとして利用できるベンチを配置しています。また、最大の特色として、所沢市の公園の中で唯一、河川に降りることのできる階段を有します。

松井地区に新たに誕生した憩いとふれあいの広場に、ぜひ足を運んでみてください。



松戸橋公園全景



ふるさと応援寄付金贈呈



式典記念写真撮影



清流を間近に望むロケーション